

令和3年6月10日

各関係大学（研究科）長
各関係機関の長 殿

国立大学法人琉球大学
人文社会学部長 安藤 由美
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

このたび、本学部では、下記の要領で教員を公募することになりました。つきましては、関係各位へご周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 公募人員 教授又は准教授 1人（年俸制Ⅱ）
2. 所属 人文社会学部 琉球アジア文化学科
3. 専門分野 琉球史
4. 担当科目 共通教育科目：琉球アジア研究入門、琉球学入門
専門科目：基礎演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、琉球アジア研究概論、琉球史概論Ⅰ～Ⅱ
琉球史史料講読Ⅰ～Ⅳ、琉球史研究Ⅰ～Ⅳ、歴史伝承史料調査実習Ⅰ～Ⅱ
琉球史基礎演習Ⅰ～Ⅱ、琉球史演習Ⅰ～Ⅱ、卒業論文
大学院科目：琉球近世史特論Ⅰ、琉球近世史特論Ⅱ、地域共創特別演習Ⅰ～Ⅳ
5. 採用予定年月日 令和4年4月1日
6. 応募資格 学位：博士の学位を有する者
資格：琉球史についての教育・研究に取り組める者
教育（研究）歴：教授においては10年以上、准教授においては5年以上の教育・研究歴を有する者
業績及び実績：琉球アジア文化学科歴史・民俗学プログラムで琉球史学を主導でき、かつ、大学院博士前期課程の研究指導担当ができる業績と実績を有する者
・在職中は、科学研究費助成事業を含む外部資金に代表者として応募すること
7. 提出書類 (1) 履歴書（様式1）（「書類記入上の注意」を参照のこと）
(2) 最終学歴の卒業（修了）証明書（学位記の写しでも可）
(3) 教育研究業績等調書（様式2）及び研究業績（論文等の抜刷又はコピー各一部）
(4) 大学研究・教育に対する抱負（日本語で2000字程度、様式任意）
(5) 専門科目「琉球史概論Ⅰ」と「琉球史史料講読Ⅰ」の講義シラバス（いずれも90分×15回、様式任意）
8. 待遇 雇用形態：常勤（1日7時間45分、週5日勤務）
給与：経歴によって算定（国立大学法人琉球大学年俸制（Ⅱ）適用教員給与規程による）
諸手当：通勤手当・住居手当等（国立大学法人琉球大学職員給与規程による）
休日：日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日～1月3日）、その他特に指定する日
福利厚生：文部科学省共済組合に加入

9. 応募期限 令和3年7月26日(月)午後5時(必着)

10. 書類送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学総務部人事企画課任用係 宛て
Tel(098)895-8023 Fax(098)895-8013

※「書留」とし、封書の表には「人文社会学部琉球アジア文化講座 教員応募書類在中」と朱書きすること。なお、提出書類は返却しませんのでご了承ください。

11. 照会先 琉球大学 人文社会学部 琉球アジア文化学科
担当：呉 世宗
TEL：(098)895-8264
メール：sejong@hs.u-ryukyu.ac.jp

12. その他

※琉球大学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り男女共同参画を推進しており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。詳細は琉球大学ジェンダー協働推進室ホームページをご覧ください。

※本公募では選考過程での評価が同等の場合には、女性を優先的に採用します。

※男女問わず、出産・育児・介護等に従事した期間について考慮することを希望される場合は、履歴書の備考欄に付記願います。

※琉球大学の教員の定年は満65歳です。

※本学と沖縄県教育委員会との人事交流に基づいて本学に着任している大学教員及び附属学校教員は、人事交流による在任中に応募することはご遠慮下さい。

※書類選考通過者には、面接(模擬授業含む)を行います。その場合の旅費は、自己負担となりますのでご了承ください。なお、情勢を鑑みオンラインを使用した遠隔面接などの対応も相談に応じます。

※琉球大学では、敷地内は全面禁煙としております。